



「ひまわりの丘」の環境にやさしいまちづくり

その8 【動物たちの憩いの場】



ボブたちは、いなくなつた木を使って動物たち専用の憩いの場をつくつたよ！このおかげで森の動物たちは安心して休めるようになったんだ。

では、わたしたちの世界の生きものたちはどんな暮らしをしているのかな。

6 いのちを守るう

1 犯人はだれだ

人間が快適な暮らしをするために開発された環境は、多くの生きものにとっては、とても暮らしにくい場所となつてしまいました。それによって、数を減らしている生きものがあとを絶ちません。

生きものたちを追いやってしまった犯人はわたしたち人間なのです。

●日本にすむ生きものにせまる3つの危機

1 生きものすみかが壊される！

- 家庭や工場の排水が原因で川や海が汚れる。
- 開発により森がなくなる。
- 埋立などにより自然の干潟や海岸がなくなる。



2 人間と自然との関わりがなくなっている！

- 農業をする人がいなくなる。
- 山の手入れをする人がいなくなる。

里地里山の自然環境がなくなる！



3 外来生物や化学物質が増えている！

- 外国から持ちこまれた生きもの（外来生物）が、日本の生きもの暮らしをおびやかす。
- 人がつくつた化学物質が生きものに影響を与える。



ボクも外国のムシを飼っているよ。逃がさないで最後までちゃんと飼わないと日本の生きものたちは困ってしまうんだね。

●日本のレッドデータブック

絶滅のおそれのある生きもの数(平成19年9月)

	絶滅	野生絶滅	絶滅が心配されている
動物	46	2	1,002
植物	74	10	2,153

野生絶滅:自然の中にはもうすんでいません。

人間によって保護され、育てられています。

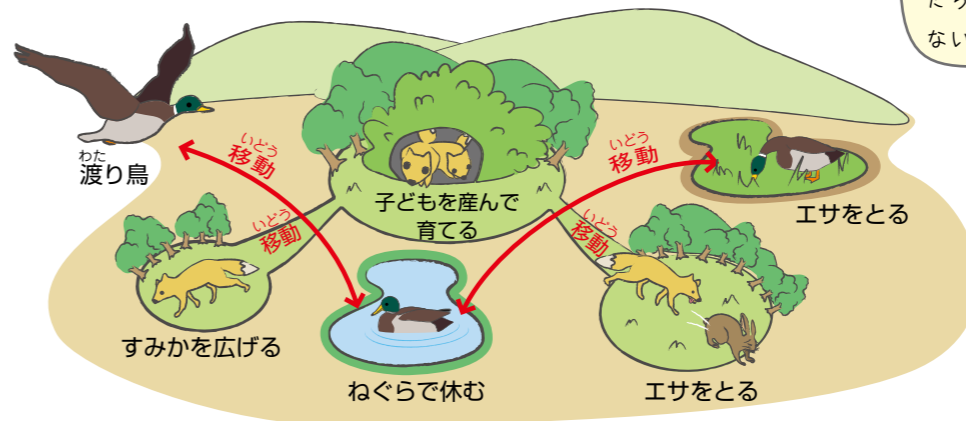


2 生きものがいなくなる

生きものは、こどもを産んで育てたり、エサをとったり、ねぐらで休んだりするためにいろいろな場所に移動しながら生活しています。目的に合わせて生きものたちが必要としている自然が全部つながつた状態(生態系ネットワーク)でないと生きものたちは暮らしていけないのです。

開発によって生きものすみかが直接失われることに加え、生態系ネットワークが失われることも、生きものたちにとっては大問題なのです。

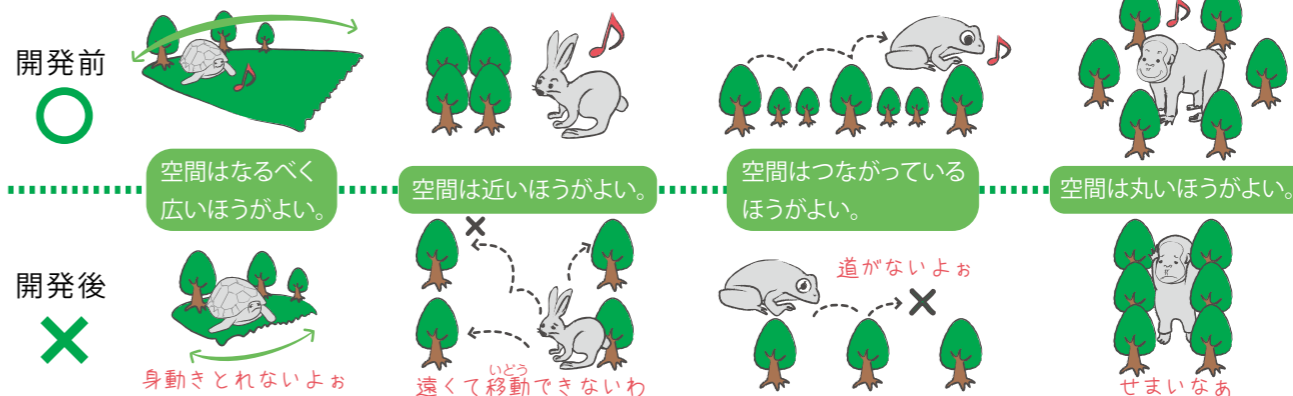
●生態系ネットワークのしくみ



わたしたちも、家だけあっても食べ物がないと生きられないわね。生きものたちも、エサ場とねぐらがつながっていると、生きていけないのは当然よね。



●生きものが暮らしやすい環境



！知っておこう！ 生きものたちの意外な敵「ごみのポイ捨て」

わたしたちの暮らしから出ているごみが生きものたちを傷つけているのを知っていますか？実は大きな問題になっているのです。

ポイ捨てされたごみなどは、風にとばされたり、川に流れて海に到着します。そのごみをエサとまちがえて飲みこんでしまつたり、体を傷つけられる生きものがたくさんいます。

わたしたちの勝手な行動が見えないところで生きものたちに被害をあたえています。

自分が出したごみはきちんとごみ箱に捨てましょう。



↑ポリ袋をのどにつまらせたウミガメ



↑プラスチックのリングが口にはまつたアザラシ



←シックスバックリング(缶入飲料を6本ずつまとめるホルダー)にはまり、成長にともなつて体が切れた魚

(写真提供: JEAN/クリーンアップ全国事務局)



「ひまわりの丘」の環境にやさしいまちづくり

その9
【ボブの夢の中のできごと】



ある日ボブは、まちの都市開発が進んで、ひまわりの丘や動物たちが消えてしまう夢を見たよ。目が覚めて、ボブはみんなが気持ちよく暮らせるように、「ひまわりの丘を守るまちづくり」をはじめたんだ。
では、わたしたちの世界ではどうやって自然が守られているのかな。

3 どんなふうに使われているのかな

日本では、美しい自然や伝統的な風景を国立公園などに指定して自然を守っています。指定された場所では、自然を壊すような開発を禁止したり、生きものすみかを守る決まりがつくられています。

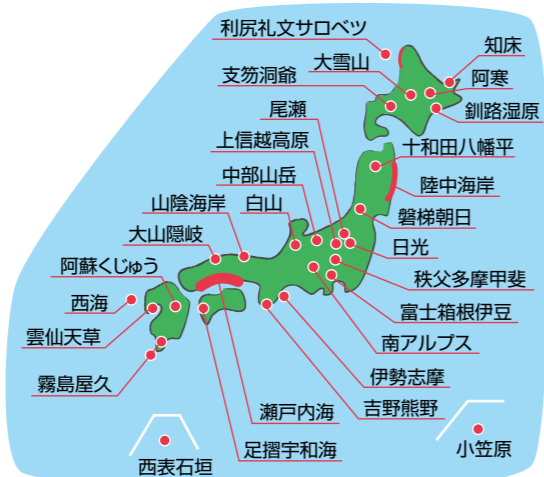
そのほかにも、自然を守るだけではなく傷ついた自然を回復する役割や、自然を観察したり、野外レクリエーションなどを通じて、自然と楽しくふれあう場としての働きもあります。

日本にあるいろいろな国立公園（全国29ヶ所）



霧島屋久国立公園

屋久島では縄文杉をはじめとするヤクスギ巨木群やヤクシカなど珍しい動植物が見られるよ。



釧路湿原国立公園

約2万年前の氷河期の生き残りといわれるキタサンショウウオがいるよ。タンチョウもこの湿原で見ることができるんだ。

調べよう 「国立公園」について（環境省自然環境局 <http://www.env.go.jp/park/>）

知っておこう！ 世界の国々で決めた約束

自然を守るために、世界の国々が話し合って約束をしています。

<ラムサール条約>

水鳥たちを中心に、魚や昆虫や植物などたくさんの生きものが暮らしている湿地の環境を国際的に守ろうという取決め。



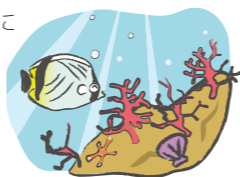
<ワシントン条約>

絶滅が心配される動植物の採取や捕獲を防ぐため、動植物の国と国との取引を制限する取決め。



<国際サンゴ礁年2008>

魚たちの生活場所になったり、防波堤の働きをしたりするサンゴ礁を保全するための活動や大勢の人に知ってもらうための普及活動をしている。
<http://www.iyor.jp/>



こんなところにかけてみよう

地域の自然や歴史、文化を学びながら体験することで、その地域をいつまでも元気にするための観光として「エコツーリズム」があります。

現在は、国立公園などの自然豊かな地域や里地里山のような身近な自然地域など、さまざまなところで「エコツーリズム」の考え方に基づいた楽しいエコツアーが企画されています。自然の中でゆったりとした時を過ごしながら自然の恵みを体感する活動がたくさんあります。自然がいつまでも元気で地域の人々に大切にされるために、みんなでエコツアーに参加してみよう。

エコツーリズム



エコツアーの主な活動内容

—自然の恵みを体験—



↑(写真提供：知床ナチュラリスト協会)

—里地里山での生きものさがし—



(写真提供：ホールアース自然学校)
©2007 Whole Earth Nature School. All Rights Reserved.

エコツアーってなんだか楽しそう！ぼくも参加してみたいな。



—自然と関わる地域の生活や文化を体験する活動—



(写真提供：ホールアース自然学校)
©2007 Whole Earth Nature School. All Rights Reserved.

—外来植物駆除など環境保全のための活動—



ウシガエルのオタマジャクシをみんなで採ります。
(写真提供：財団法人 埼玉県生態系保護協会)

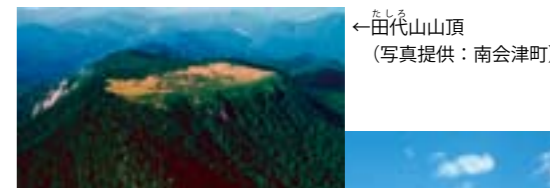
知っておこう！ 平成19年に「29番目の国立公園」として誕生した「尾瀬国立公園」

平成19年8月、日本で29番目の国立公園として「尾瀬国立公園」が誕生しました。新しい国立公園ができるのは、20年ぶりのことです。

尾瀬国立公園は、日光国立公園のなかにあった尾瀬地域が独立して、さらに近くの会津駒ヶ岳や田代山・帝釈山周辺地域が加わってできました。

人の手が入っていない自然に恵まれ、とても貴重な湿原があります。みんなのお父さんやお母さんがこどものころに音楽の授業で習った唱歌「夏の思い出」でも歌われているようにミズバショウがきれいに咲く有名な場所です。

新しい日本の国立公園に行ってみよう。



←田代山山頂
(写真提供：南会津町)



ミズバショウ 燧ヶ岳を望む
(『尾瀬国立公園』 <http://www.env.go.jp/park/oze/>)